

< 30秒オペレーターの役割 >

<間違いやすいので注意しましょう>

- シュートがリングに当たったかどうかを注意して、よくボールとリングを見ておくこと。
- リングに当たったからといって、すぐに次の30秒が始まるわけではありません。
どちらかのチームのプレイヤーが保持するまで、スタートストップボタンを押して時計を止めて待っておきます。
どちらかのチームのプレイヤーがリバウンドボールをしっかりと保持したことを確認してリセットボタンを押すようにします。
- シュートのボールがリングに当たったかどうか判断できず、わからないときがあります。
わからないときや戸惑ったときは「リセットしない（継続する）」を選びましょう。

そして審判の合図を待ちましょう。
審判が人差し指を頭の上にあげて
くるくる回す合図をしたら
それは「リセットしてください」
という合図です。
リセットボタンを押してください。



- スロー・インが行なわれたからといって、すぐに次の30秒が始まるわけではありません。
どちらかのチームのプレイヤーが**保持するまで**、時計を動かさないで待っておきます。
- ディフェンスがカットしたからといって、すぐに次の30秒が始まるわけではありません。
どちらかのチームのプレイヤーが保持するまで、時計は動かし続けます。
ディフェンスが保持する前に、オフェンスが取り返したら、そのまま計り続けます。
- ディフェンスがカットした**ボールを保持したことを確認**したら、すぐにリセット・スタートです。
- シュート・ブロックがあってもすぐにリセットしてはいけません。
- ボールのファンブルがあってもすぐにリセットしてはいけません。
- シュートしたボールがバックボードだけに当たってもリセットしてはいけません。
リング（オレンジ色の部分）に当たったかどうかの確認がないとリセットしません。
- シュートのボールが空中にある間に、30秒のブザーが鳴っても、審判が笛を鳴らさない限りゲームは止まりません。リバウンドボールの保持がいつ始まるのかに集中です。
- 各クォーターで残り30秒を切ったら、新たに計りません。（試合時間が30秒未満なので）

注意：時計を動かすのは、タイマーの役割では、コート内でボールに**触ったとき**ですが

30秒オペレーターの役割では、コート内でボールを保持（コントロール）したときです。

よくあるTOのミス・かん違い<1>

●スコアラー

起った現象	解 説
ファウルがあったので、すぐにスコアシートに目を落としてうつむいてファウルらん書き始めた。	→ たぶん〇番だろうな ぐらいの予想はしておきましょう。ただし、記入するのは審判がTOに伝えに来て、OKサインを出してからです。それまでは審判と目線を合わせましょう。
試合中に片方のチームのスコアラーからファウルの数や点数がちがうと言われたので急いで書きかえた。	→ 勝手に書きかえては絶対にいけません。時計が止まるのを待って、審判に伝えて、両チームのスコアラーを呼んでもらって話し合いをします
ヘルドボールでオルタネイトになり、審判がスローインする人にボールを渡したので、矢印の方向をかえた。	→ オルタネイトのスローインはボールを投げて終わってから矢印をかえるよう心がけましょう。投げる前にディフェンスのファウルがあると権利は移りません。
<p>☆ワンポイントアドバイス☆</p> <p>スコアラーはあわてて自分勝手に仕事をしないことが大切です。アシスタントスコアラーや後ろに立っているお世話をしてくれるコーチなどと、いつも相談、話し合いをしながら仕事を進め、審判のコールやレポーティングをよく見てあわてずに進めていきましょう。</p>	

●アシスタント・スコアラー

起った現象	解 説
ファウルがあったので、スコアラーが書き終わるのを待って、ファウルの確認をし、ゆっくり個人ファウルを出した。	→ ファウルはたぶん〇番だろうな ぐらいの予想をして「誰が」「何回目の」ファウルをしたか確認しておきます。審判が伝え終えたらすぐに個人ファウル・チームファウルと続けて出せるように毎回準備をしておきましょう。
チームファウルが4回目になった。知らせるのが遅れ、試合がすすんだのでブザーを鳴らして試合を止めて4ファウルをみんなに知らせた。	→ TOが試合を止めることは原則できません。同じチームに次のファウル（5回目）があったときに5回目のファウルでフリースローになることを伝えれば大丈夫です。TOは審判に伝えるだけで、宣言は審判がします。
個人ファウルが5回目になった。審判が気づかないのでそのままにした。	→ 審判のTOへの報告中に5ファウルを知らせるのがベストですが、気づかないときはブザーを鳴らしましょう。
<p>☆ワンポイントアドバイス☆</p> <p>アシスタント・スコアラーは、ファウルの数の管理が主な仕事ですが、試合とTO仲間の仕事をよく見て時計が動いているか、誰が得点したか、誰のファウルか、ベンチからタイムアウトの請求があった…など、気を配りながらTO仲間と話し合いながら仕事をします。特に後半は、会場のみんなが個人ファウルの数に注目しています。少しでも早くファウルの数をお知らせできるように、ゲームに出ている選手のファウルの数は常に確認しておきましょう。</p>	

☆ジャンプボールシチュエーションについてのワンポイントアドバイス☆

- ※ ジャンプボールシチュエーション : 試合がジャンプボールで始まって、最初にボールを保持したチームの「逆のチームのこうげき方向」へ矢印を向けます。
- ※ 最初のジャンプボールで誰もボールを保持できないままボールが出る場合があります。そのときはスローインするチームの「逆のチームのこうげき方向」へ矢印を向けます
- ※ ゲーム中にジャンプボールシチュエーションになったら、スローインされるのを待って、コート内で誰かがボールに触ったら、矢印を反対に向けます。スローインしたボールに誰もさわらず、そのまま出て行ったり5秒オーバーになったりしても、矢印を反対に向けます。
- ※ スローインされる前に、ファウルがあったら、次にされるスローインはファウルでのスローインです。スローインしても矢印は変えません。ジャンプボールシチュエーションはなかったことになります。

よくあるTOのミス・かん違い < 2 >

●タイマー

起った現象	解説
スローインしたボールが床にバウンドしたのでタイマーを動かした。	→ コート内の選手がボールにさわるまで時計は動かしません。
最後のフリースローが入ったのでタイマーを動かした。	→ ボールを持った選手が外へ出て、スローインをして、コート内の選手がボールにさわるまで時計は動かしません。
最後のフリースローがリングに当たってはズレたのでタイマーを動かした。	→ はずれたリバウンドのボールに、コート内の選手がさわるまで時計は動かしません。
ゲーム中、シュートが入ったので時計を止めてスローインを待った。	→ シュートが入ってもミニバスでは時計を止めることはありません。
タイムアウトの請求があり、相手チームのシュートが入ったが時計を止めないでそのままにした。	→ シュートが入った瞬間、時計を止めます。ゲーム中にタイムアウトの請求がどちらのチームからあったのかをTO仲間で伝えて、知っておく必要があります。
<p>☆ワンポイントアドバイス☆</p> <p>タイマーは試合をながめるのではなく、見ながら審判の笛の音を「聞く」姿勢が大切です。審判の笛の音にすばやく反応して、時計を止めるために、常にボタンに指をおいておくことが必要です。ボタンを押したつもりでも、常に時計が動いているか・止まっているかを確認する心配りも大切です。時計のスタートは審判の手を下げる合図も視野に入れながら、タイミングを確認しましょう。</p> <p>●時計を止めて、止まっている間はタイマーも手をあげることを忘れずに。ストップと同時にあげましょう。</p>	

●30秒オペレーター

起った現象	解説
シュートがあったので、リセットボタンを押して30秒をリセットした。	→ リングに当たるまで30秒は計り続けます。リングに当たったかどうかをしっかりと見ておきましょう。
シュートに対してブロックがあったので、リセットボタンを押した。	→ リングに当たるまで30秒は計り続けます。リングに当たったかどうかをしっかりと見ておきましょう。
シュートがバックボードに当たったので、リセットボタンを押した。	→ リングに当たるまで30秒は計り続けます。リングに当たったかどうかをしっかりと見ておきましょう。
リングに当たったので、リセットをしてすぐに次の30秒を計り始めた。	→ リバウンドあらい中は30秒を計り始めません。どちらかの選手がボールを保持したときにスタートです。リセットボタンを押せばなしにして、保持を確認したらボタンから指をはなせばOKです。(時計は動きます)
ディフェンスがボールをカットしてボールの取り合いになったので、すぐにリセットして次の30秒を計り始めた。	→ カットしたルーズボールのあらい中はリセットしません。カットしただけでは、まだディフェンスはマイボールにはしていません。ボールをしっかりと保持(キャッチするかドリブルする)したことを確認してリセット・スタートです。もし、オフェンスが取り返したら、リセットしていないのでそのままのけいそくで30秒の残り秒数を計り続けます。
<p>☆ワンポイントアドバイス☆</p> <p>30秒はあわててスタートやリセットしないことが大切です。しっかりと保持をして、マイボールにしたことを確認してからリセットやスタートをします。キーワードは「ボールの保持」です。意識しましょう。まずは30秒をストップして、リセットか継続かを考えましょう。あわててリセットする必要はありません。審判の指示があって、リセットであればリセットボタン押してストップさせましょう。指を常にボタンの上に置いて、ゲームのプレイを集中して見ておきましょう。うつむかないで。</p>	